

2009 年度

A New Business is born in Saitama City

さいたま市 ニュービジネス大賞



最優秀賞 (賞金50万円 賞状 盾)

片山 征史氏 山征工業有限会社

ビジネスプラン名

さいたま市のリサイクルPET素材を活用した耐熱食器の製造



優秀特別賞 (賞金30万円 賞状 盾)

石三 重則氏 株式会社イシミック

ビジネスプラン名

真空セラミック断熱ブラインド(省エネと快適な窓の未来の為に)

優秀賞 (賞金10万円 賞状 盾)



野添 拓郎氏
有限会社花野井製作所

ビジネスプラン名

スピーカーエンクロージャーの
製作とアフターサービス事業の
展開



相澤 周司氏
株式会社ベルニクス

ビジネスプラン名

営業現場の声から生まれた営
業管理ツール“営業の達人”の
販売

奨励賞 (賞金5万円 賞状 盾)



コミュニティビジネス賞

蝦名 順子氏
ジョイナス

ビジネスプラン名

障がい者雇用支援事業



女性創業賞

佐藤 恵氏
ボイスクリエーション Sucre

ビジネスプラン名

声はすべてのシーンの主役!業績向
上・生活の質の向上に繋がるボイス
&スピーチコンサルタント事業



プレ創業賞

菩提寺 由美子氏
彩の国ブランドフォーラム

ビジネスプラン名

守りたい 伝えたい 繋げたい
我が街「さいたま市」

財団法人さいたま市産業創造財団

<http://www.sozo-saitama.or.jp>

さいたま市 ニュービジネス大賞

2009年度受賞者4件のビジネスプラン概要

財団法人さいたま市産業創造財団では、さいたま市を元気にする斬新でアイデアあふれるビジネスプランを募集・表彰しています。優秀なビジネスプランについては、「さいたま市ニュービジネス大賞」として表彰するとともに、専門家のアドバイスや販路開拓の機会提供をもって、事業化の促進を特別に支援していきます。

最優秀賞 片山 征史氏 山征工業 有限会社

ビジネスプラン名「さいたま市のリサイクルPET素材を活用した耐熱食器の製造」

さいたま市内で回収されたPETボトルを利用し、耐熱性・耐衝撃性を兼ね備えた、リサイクルPET100%の食器を製造・販売します。PET樹脂を特殊な方法で結晶化させ、約200度の耐熱性を持たせる画期的な製造方法で特許を取得しています。原料供給ルートおよび販路をさいたま市内とすることで、さいたま市内でPET資源が循環するリサイクルシステムが可能となります。

優秀特別賞 石三 重則氏 株式会社イシミック

ビジネスプラン名「真空セラミック断熱ブラインド(省エネと快適な窓の未来の為に)」

これまで当社が培ってきた天井や壁への特殊断熱コーティングの技術をブラインドに応用。真空セラミック断熱材をブラインドに超薄膜コーティングすることに成功しました。従来の窓ガラス遮熱用フィルムやコーティング等では、熱割れのリスクがあるだけでなく、冬の暖かな陽射しまで遮ってしまいます。今回独自開発したブラインドは、これらの問題点を最小限にし、夏涼しく冬温かい快適な空間が実現するだけでなく、より大きな省エネによるコスト削減が図れ、環境負荷の抑制にもつながります。

優秀賞 野添 拓郎氏 有限会社花野井製作所

ビジネスプラン名「スピーカーエンクロージャーの製作とアフターサービス事業の展開」

スピーカーの性能を生かすためのエンクロージャー(ボックス)は、基本的な直方体を中心に市場に出回っていますが、音響工学的には卵型が理想といえます。そこで卵型の木製エンクロージャーを切削加工し、吸音材に頼らずに良質の音を再現。さらに、加工をデータ化することにより、安定した性能、製品化を確立し、リーズナブルなコストを実現。ターゲットは、ハイエンドオーディオ入門クラスの製品としての位置づけから、『団塊世代』『アラフォー世代』をイメージしています。また、商品コンセプトをキープしながらのイーजीオーダーの製品の販売、長期間にわたって安心して性能を維持更新できるアフターサービスを事業のもう一つの柱とします。

優秀賞 相澤 周司氏 株式会社ベルニクス

ビジネスプラン名「営業現場の声から生まれた営業管理ツール“営業の達人”の販売」

この営業管理ツール『営業の達人』で営業現場が製品仕込み、在庫確認、案件状況管理、予算作成、予算進捗管理、製造計画立案など人のノウハウ、勘に頼っている部分を、現在の状況を引き出し見える化する事で、誰でも的確に状況を把握し、必要な決断を下すことが出来るようになりました。また、中小企業にとって、社内システムのIT化は導入コストが高く、導入に踏みかけることがなかなかできません。この『営業の達人』は、社内向けに作成したシステムの為、原価が安く、格安で紹介する事ができ、加えて社内にIT担当を置くことなく、ランニングコストも安くする事ができます。同じ悩みを持つ中小企業はメーカーのみならず、商社、小売など多くあり、これらのニーズにこたえる事が出来る救世主となるはずで。